

# 『Face Plus AI サーマル検知端末 MP612-TM1W1』 取扱説明書

Version 2.4



作成日	2021年1月23日
-----	------------

## 改版履歴

版数	日付	項目	改版内容
1.0	2020/05/08		新規作成
1.1	2020/06/07	5.2、9.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 検温ソフトウェアバージョン MP612_T_02_011_EQ001 より、結果表示及び通知音の仕様を変更。</li> <li>➢ 温度異常⇒温度注意</li> <li>➢ ブブー⇒連続ピンポン</li> </ul>
		9. 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● マスク着用なしの本人認識率99%を97%に変更</li> </ul>
		12	<ul style="list-style-type: none"> <li>● お問い合わせ先の修正</li> </ul>
2.0	2020/07/27	全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 最新鋭の顔認証エンジンへのアップグレードにより、製品名を「Face Plus AI サーマル検知端末」に変更</li> <li>● 以下のバージョンもしくはそれ以上に適用される <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ AI サーマル検知 APP ソフトウェアバージョン： MP612_T_02_021_EK001</li> <li>➢ 赤外線モジュールファームウェア：XYP_20200504</li> </ul> </li> </ul>
		5	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 温度測定⇒温度検知</li> <li>● 画面表示を正常／注意と変更</li> </ul>
		付録	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Web 管理画面の日本語メニューを一部修正</li> </ul>
2.1	2020/08/10	5. 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 屋外モードの使用についての記述を追加</li> </ul>
		付録2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● WEB 設定画面マニュアルを新規追加</li> </ul>
2.2	2020/09/26	付録3	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自立スタンド据付け手順書を新規追加</li> </ul>
2.3	2020/11/22	全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ソフトウェアのバージョンアップに伴う改訂</li> <li>● 最新のバージョン情報は以下の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ AI サーマル検知 APP ソフトウェアバージョン： MP612_T_02_029_EK001</li> </ul> </li> </ul>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 赤外線モジュールファームウェア: XYP_20200504</li> <li>● 029 バージョンの主な変更点 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 3つの動作モード設定メニュー追加</li> <li>➢ 検知回数のカウンター表示機能追加</li> <li>➢ セキュリティ機能強化 (PIN コード設定メニュー追加)</li> <li>➢ マスク着用チェック機能の3つの動作モードへの適用</li> <li>➢ Web 管理画面のメニュー誤記修正</li> </ul> </li> </ul>
		2.1	● 付属品: TYPE-A、B、C の3種類を明記
		5 章	● タイトル:「動作モード及び体表温度検知」に変更
		5.1	● 「動作モード及び検知モード」: 新規追加
		5.4	● 「検知回数のカウンター表示機能」: 新規追加
		7.5	● 「セキュリティ」: 新規追加
		9.4	● 「ラベルプリンター連携」: 新規追加
2.3	2021/1/23	全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ソフトウェアのバージョンアップに伴う改訂</li> <li>● 最新のバージョン情報は以下の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ AI サーマル検知 APP ソフトウェアバージョン: MP612_T_02_034_EK001</li> <li>➢ 赤外線モジュールファームウェア: XYP_20200510</li> </ul> </li> <li>● 034 バージョンの主な変更点 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 検温: 測定結果 &lt;35℃ &amp; &gt;42℃ 時の再測定処理</li> <li>➢ Web 管理画面 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「履歴」: 検温番号追加</li> <li>■ 「登録管理」: 登録者名入力フォームでの漢字入力バグ修正</li> <li>■ 「登録管理」: 登録者数と登録写真枚数表示追</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>

			加 ➤ USB ポート: 無線マウス接続対応 ➤ ネットワーク: IPv4 サブネットマスクの全範囲対応
		5.5	● 検温番号(カウンター)表示機能

本文書は、弊社又は第三者の秘密情報・知的財産権等が含まれている場合があります。本文書の取扱いについては、当該権利者の権利・利益等を侵害しない様、ご注意ください。又、弊社以外の者に開示する際には、弊社の担当者へ事前にご連絡下さい。

In this specification, confidential information or intellectual property may be included.

So, please be careful not to infringe those information or rights and to take necessary legal protective methods.

If you want to provide this specification to third party, you need to have prior consent of iFLY Solutions Japan Co.,Ltd.

## 注意事項

1. 本書に記載されている内容は、本書発行時点のものであり、予告なく変更する可能性があります。
2. 本書に記載されている情報は、正確を期するために慎重に作成したのですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、本書に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合におきましても、当社は一切その責任を負いません。
3. 本書に記載された技術情報の使用に関連して発生した第三者の特許権、著作権その他の知的財産権の侵害等に関し、当社は一切その責任を負いません。当社は本書に基づき、当社または第三者の特許権、著作権その他知的財産権に基づきいかなる権利も許諾するものではありません。
4. 本書の全部または一部を当社の事前承諾を得ずに転載または複製することを固く禁じます。

## 目次

1. はじめに.....	7
1.1. 本機の用途.....	7
1.2. 安全上のご注意.....	7
2. 付属品.....	9
2.1. 付属品.....	9
2.2. 梱包仕様.....	10
3. 製品外観及び各部の名前.....	11
3.1. 製品外観(前面&側面)及び各部の名前.....	11
3.2. 背面ケーブル.....	12
4. 設置.....	13
4.1. 設置についてのご注意.....	13
4.2. TYPE-A 三脚への取り付け.....	14
4.3. TYPE-B 自立スタンドへの取り付け.....	17
4.4. TYPE-C 壁掛けとゲート設置.....	17
5. 動作モード及び体表温度検知.....	18
5.1. 動作モード及び検知モード.....	18
5.2. 体表温度検知についてのご注意.....	18
5.3. 電源オンするだけで測定可能.....	19
5.4. 画面遷移.....	20
5.5. 検温番号(カウンター)表示機能.....	21
6. 本機単体での設定管理機能.....	22
6.1. 本機単体でできること.....	22
6.2. マウス操作.....	22
6.3. 設定管理機能の使い方.....	22
7. 運用.....	24
7.1. 推奨方法.....	24
7.2. 起動手順.....	24
7.3. 停止手順.....	24
7.4. 注意事項.....	25
7.5. セキュリティ.....	25
8. 基本仕様.....	27
9. 提供機能.....	29
9.1. 体表温度検知機能.....	29
9.2. 顔認証機能.....	30
9.3. 集中管理及び外部システム連携.....	30
9.4. ラベルプリンター連携.....	32
10. 保証範囲.....	33
10.1. 製品保証期間.....	33
10.2. 保証規定.....	33
11. 免責約款.....	34
12. お問い合わせ.....	34
付録1 遠隔 PC(WEB)での設定管理機能.....	35
1. WEB 管理画面のできること.....	35
2. ネットワーク接続.....	37
3. メニュー画面.....	38
付録2 WEB 管理画面ユーザーマニュアル.....	41
付録3 自立スタンド据付け手順書.....	41

## 1. はじめに

### 1.1. 本機の用途

- 本機は主に入退場制御用の顔認証端末として使用します。
- 赤外線温度センサー付きなので、サーモグラフィカメラと同様入退場者の体表温度のイメージスクリーニング用に使用可能です。
- 本製品は医療機器ではありません。検知温度は体表温度からAIにより推測した値です。参考値として表示します。

### 1.2. 安全上のご注意

この取扱説明書には、安全におつかいいただくためにいろいろな注意事項を記述しています。

その内容を見逃して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

#### <本体・電源ポートを含む四つのケーブル・ACアダプターについての注意事項>

- 傷つけない
- 無理に曲げない
- 加工しない
- 無理にねじらない
- 熱器具に近づけない
- 重いものを載せない
- 束ねない
- 無理に引っ張らない(特に本体の電源ポートとACアダプターの接続部)
- 電源コードを引っ張ってACアダプターを抜かない
- 濡れた手でACアダプターを抜き差ししない
- 家庭用電源電圧(AC100V)で使用する
- コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない、タコ足配線しない

- ゆるんだコンセントを使用しない
- AC アダプターを布や布団で覆ったり、包んだりしない
- 雷が鳴りだしたら、安全のために、早めに本機を停止し、AC アダプターを抜いてください。
- 万一、内部に水や異物が入った場合は、本機を停止し、AC アダプターを抜いてからお買い求めになった販売店に修理を依頼する。
- 分解、修理、改造は絶対にしない
- 正しい手順で本機を取り扱う。詳細は7章をご参照下さい



## 2. 付属品

### 2.1. 付属品

品名	製品画像	内容	数量
Face Plus AI サーマル検知端末本体 (以下本機)		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 顔検出及び内蔵赤外線センサーを使って、非接触で体表温度をスクリーニングする</li> <li>● 型番:MP612-TM1W1 (技術適合証明取得済製品)</li> </ul>	1 台
AC 電源アダプター		<ul style="list-style-type: none"> <li>● AC 入力:100V~240V、50/60Hz、0.8A</li> <li>● 出力: 12V/2A</li> <li>● 型番: SA245H-120200V (PSE マーク取得済製品)</li> </ul>	1 個
取付用金具 (本体に取り付けられた状態で出荷される)	 <p>TYPE-B</p>  <p>TYPE-A</p>  <p>TYEP-C</p>	<p>3種類の設置方法に対応:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● TYPE-A: 三脚／自立ポール(6mm ネジ)</li> <li>● TYPE-B: 自立／卓上スタンド</li> <li>● TYPE-C: 壁かけ</li> </ul>	1 個
自立スタンド／三脚 (オプション)		<ul style="list-style-type: none"> <li>● TYPE-A 用市販三脚(6mm ネジ):耐荷重:2KG 以上、脚径:23mm 以上、3Way 雲台、水準器付き、クイックシュー一式</li> <li>● TYPE-B 用高さ調整可能自立スタンド、卓上スタンド</li> </ul>	1 台

## 2.2. 梱包仕様

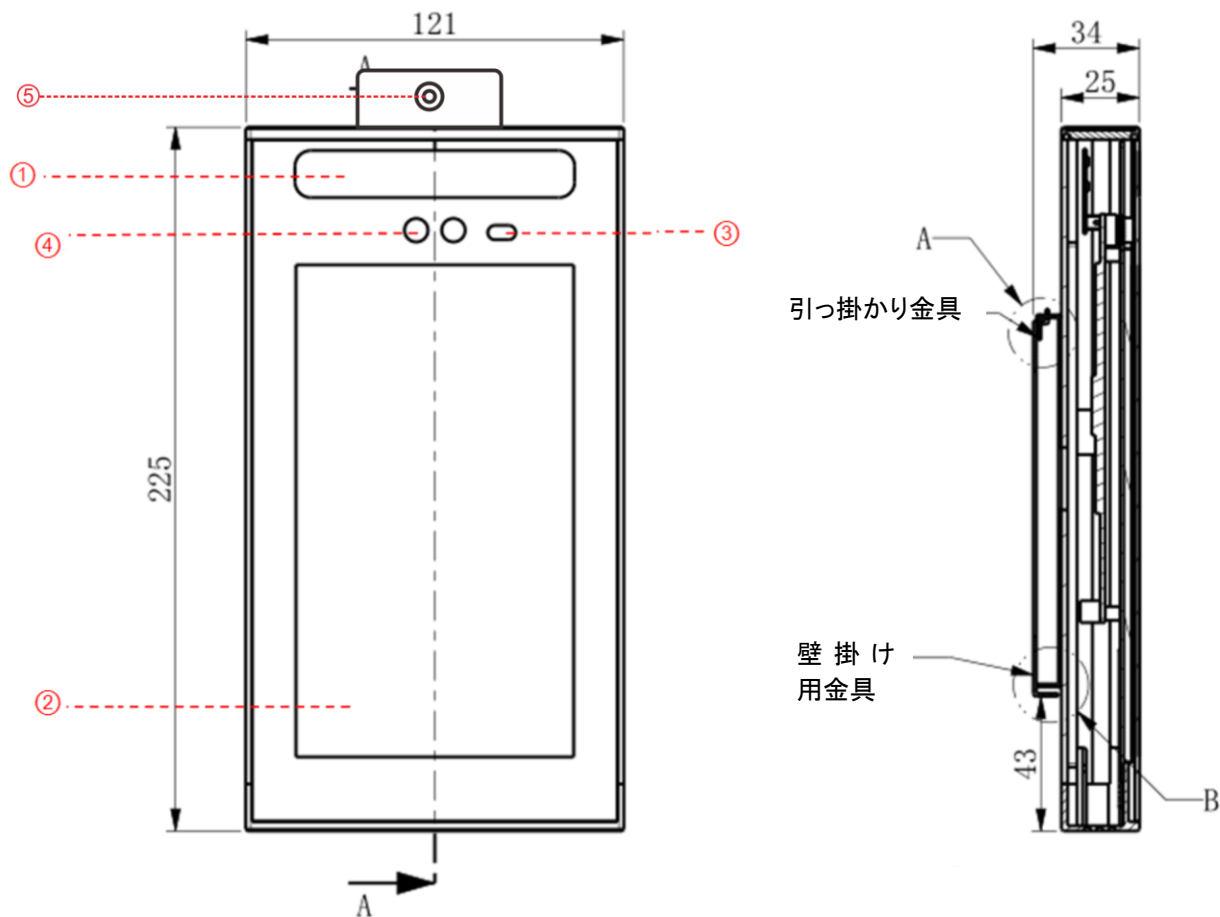
◆梱包サイズ:37.5cm(L) x 19cm(W) x 16cm(H)

◆梱包重量:1,700g



### 3. 製品外観及び各部の名前

#### 3.1. 製品外観(前面&側面)及び各部の名前



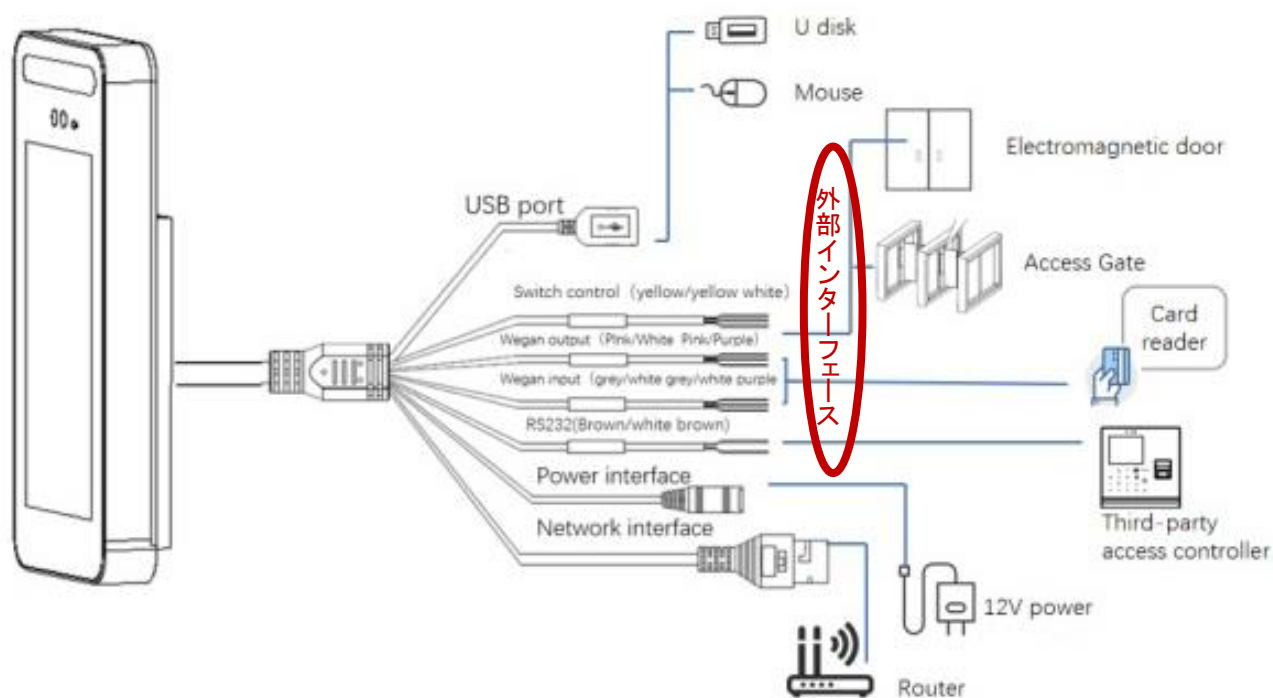
製品外観図(寸法単位:mm)

項番	内容
①	光補償ライト
②	ディスプレイ
③	赤外線発光部
④	CMOS カメラ
⑤	赤外線センサー

### 3.2. 背面ケーブル

本機の背面より以下四つの外部接続用ケーブルが出ており、電源ポートケーブル以外に必要なに応じて使用して下さい。

- 電源ポート(必須): 電源ポートとACアダプターと接続し、本機に電源供給を行う。本機には電源スイッチがないため、通電後にシステムが自動的に立ち上がり、温度検知モードに入る
- USBポート(必要に応じて): マウスとUSBメモリーカードの接続用に使う
- LANポート(必要に応じて): RJ45仕様で、Ethernet接続用に使う
- 外部インターフェース: 黒い絶縁テープで束ねられているケーブルはオプション利用で、使用・分解・改造しないで下さい。使用に際しては、当社または販売代理店にご相談ください

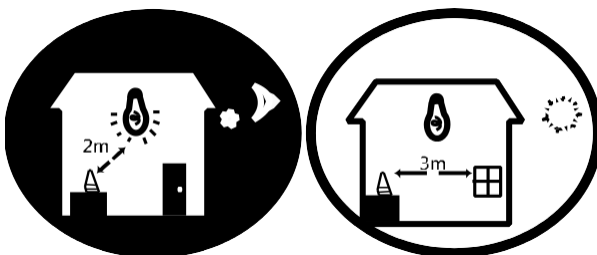


## 4. 設置

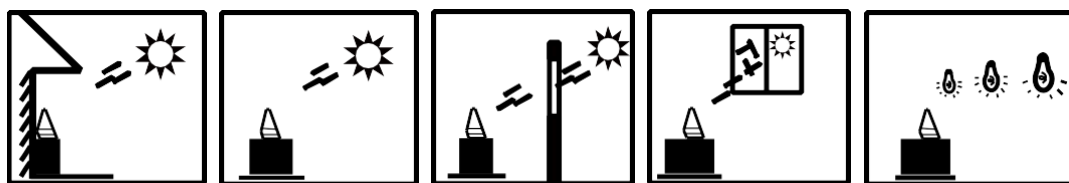
以下の条件を守って、適切な場所に設置してください。

### 4.1. 設置についてのご注意

- 室内設置
- 三脚または自立スタンド高さ: 1.1m~1.3m
- 設置角度: 顔との距離を推奨50cm~70cmに近づけるように、本機の画面を10度から20度の角度で少し上向きに調整する
- 顔検出に必要な最低照度: 100lx(ルクス)、顔にあたる照度
  - 蝋燭の照度(参考): 10lx
  - 蛍光灯の照度(参考): 100~850lx
- 光源から2m以上離れ、入り口や窓から3m以上離れる



- 逆光、光の直射、近距離の照射を避ける



❌逆光      ❌直射      ❌ガラス越しの直射      ❌ガラス越しの斜め照射      ❌近距離照射

- 赤外線センサーに風が直接当たらない
- 近くに42℃を超える熱干渉源を置かない
- 雨に当たるところ、湿気の多いところでは絶対に使用しない
- 本機を持ち運ぶときに、落としたり、衝撃を与えたりしない
- 三脚設置は倒れないよう配慮する
- 三脚や電源等の配線が通行を妨げないよう設置する

## 4.2. TYPE-A 三脚への取り付け

### 【Step1 本機を三脚に取り付ける】

三脚の取扱説明書をよく読んで、三脚への取付けを行って下さい。

① 三脚の準備:三脚の各部の名前は下図を参照して下さい。

【例示】



② 本機を三脚に取り付ける

下図の示す雲台の取付け方法と同じ手順で、本機背面に付いている取付け金具とクイックシューを固定し、三脚に取り付ける。



クイックシュー固定レバーを動かしてクイックシューを外します



クイックシューのネジをカメラのネジ穴に合わせ、硬貨などでしっかり締めて固定します



③ 下図を参照しながら、三脚の高さを調整する。

高さ: 120cm～150cm、推奨として、130cmで多少上向きにした方が大人の方の身長に合わせやすく、測定しやすい

## 高さ調整

脚による4階段と、エレベーター機能による高さ調整が可能です。



- ④ 三脚についている水平器の状態を確認し、パンハンドルなどを使って最適な温度検知角度に調整する。

### 【Step2 電源ケーブル接続】

下図のように電源ポートとACアダプターを接続する。





### 4.3. TYPE-B 自立スタンドへの取り付け

付録3をご参照ください。

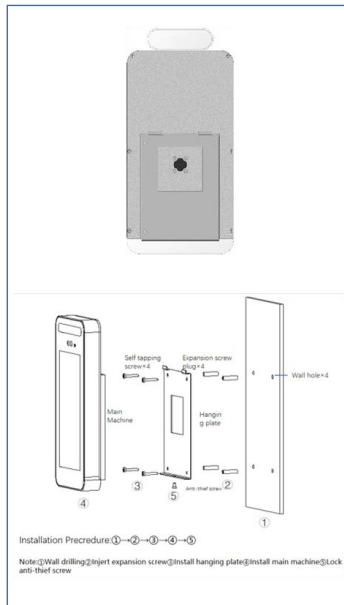
### 4.4. TYPE-C 壁掛けとゲート設置

本機は三脚設置以外に壁掛けとセキュリティーゲートへの取付け金具も提供し、3種類の設置方法をサポートする。追加で必要な方は、当社または販売代理店に連絡ください。

三脚設置



壁掛け設置



入退場ゲート取付設置



## 5. 動作モード及び体表温度検知

### 5.1. 動作モード及び検知モード

- ① 本機には以下三つの検知モードがあり、Web 管理画面の「設定」メニューより設定変更可能です。
  - ◆ 顔認証モード: 体表温度検知なしの顔認証機能を提供する
  - ◆ 未登録者温度測定モード: デフォルト、顔認証をせず、体表温度検知機能を提供する
  - ◆ 顔認証+温度測定モード: 顔認証を行いながら、体表温度検知機能を提供する
  
- ② 本機は以下三つの検知モードがあり、Web 管理画面の「設定」メニューより設定変更可能です。
  - ◆ 高速モード: デフォルト、顔全体32か所の体表温度を検知する
  - ◆ 標準モード: 高速モードより精度がやや高いが、速度は約0.3秒遅くなる
  - ◆ 屋外モード: おでこの体表温度検知に特化したモードで、半屋外環境で使用可能

### 5.2. 体表温度検知についてのご注意

以下の条件を守って、適切に体表温度検知を行ってください。

- 一人ずつ順番に行う
- 電源オンは、温度検知開始の**30分前**にする
- 本機の画面と顔の推奨距離: **50cm~70cm**
- 環境温度**10℃~35℃**において体表温度検知を行う
- 体表温度は環境温度に影響されるため、夏場や真冬に外から室内に入って来た際はしばらく安静にしてから温度検知を行う
- 前髪、帽子等、マスク以外で顔の露出が少ない場合で、温度検出できない場合は、前髪あげる、帽子をとるなどのことをして再度測定する
- 半屋外環境やガラス越しの日射がある屋内環境においては、屋外モードに設定して測定を行うことをお勧めします。屋外モードの設定方法は付録2の13)設定-未登録者温度検知モードまたは設定-顔認証+温度検知モードをご参照ください。屋外モード測定中は顔を動かさないで下さい。

### 5.3. 電源オンするだけで測定可能

設置ができたら、以下シンプルな手順ですぐに体表温度検知ができます。

① 電源オン: 温度検知開始の30分前にする

- AC アダプターをコンセントまたは電源タップに差し込み、電源供給側のスイッチを入れる
- 本機には電源スイッチがないため、通電後にシステムが自動的に立ち上がり、温度検知モードに入る

② 顔を近づける(本機の画面と顔の推奨距離: 50cm~70cm)

③ 画面表示

距離70cm以外: 画面に近づいてください

距離70cm以内: 測定中または再測定(測定結果<35℃&>42℃時に再測定を行う)

■ 結果表示

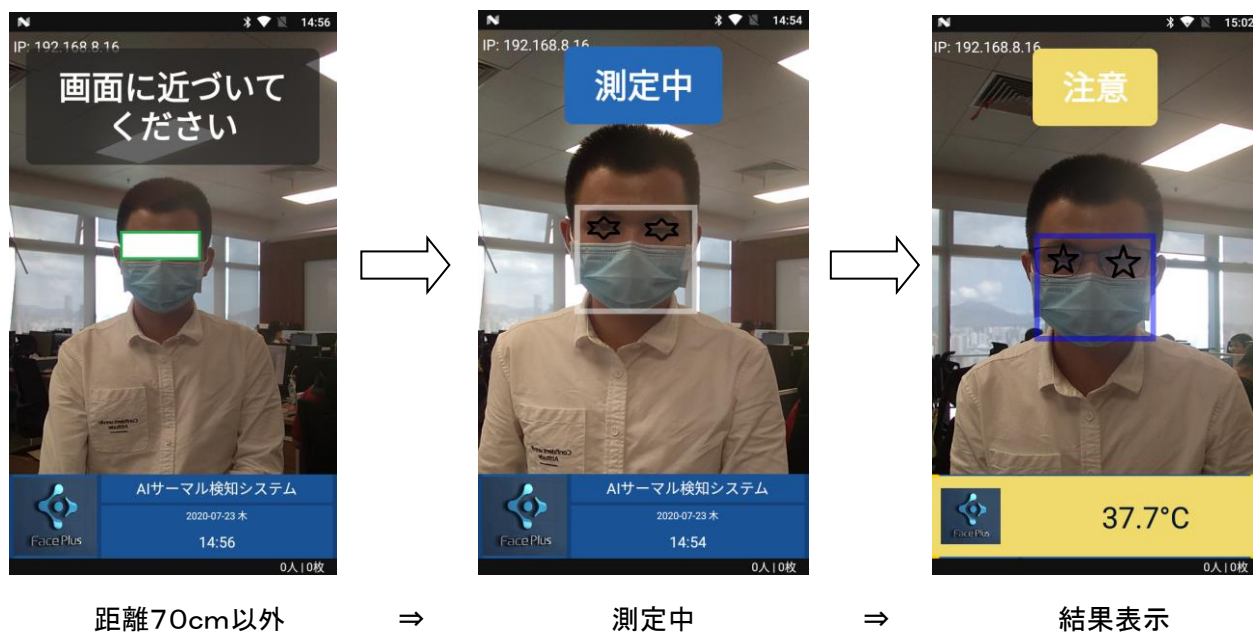
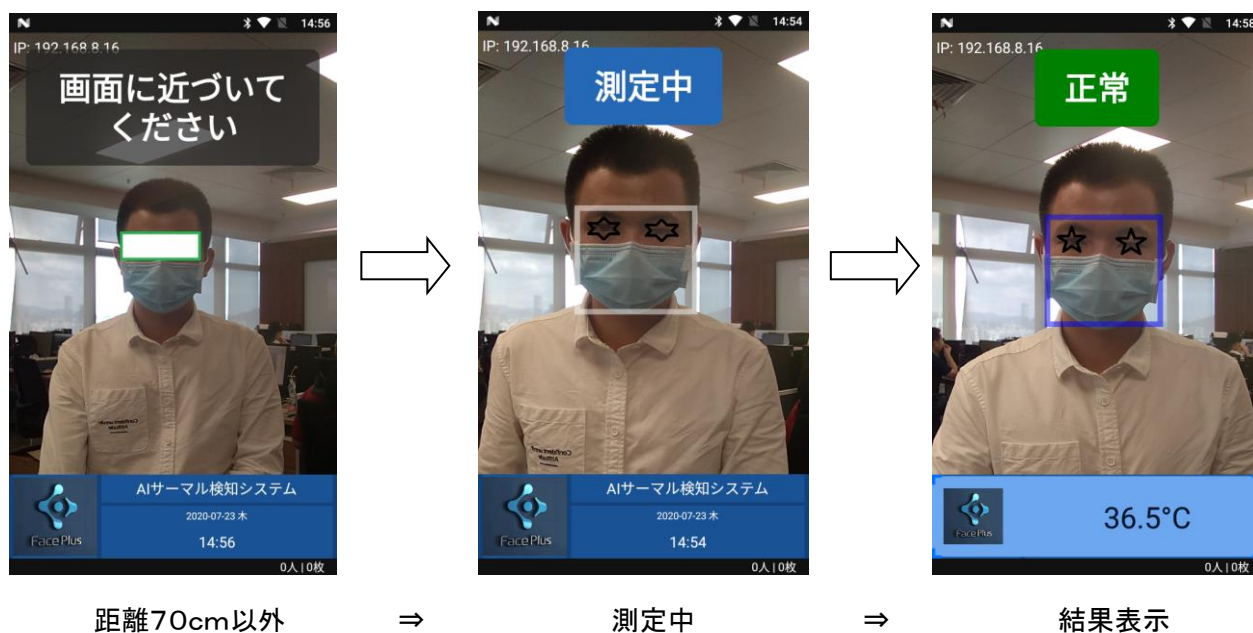
- 設定しきい値以内: 正常
- 設定しきい値超え: 注意

④ 通知音

- 正常: ピンポン
- 注意: 連続ピンポン3回

## 5.4. 画面遷移

① 以下は測定画面から測定結果表示までの画面遷移を示す。



② 以下は待ち受け画面から測定画面への画面遷移を示す。

約150秒人を検知していないと、本機は測定画面から待ち受け画面に遷移する。再びレンズ視野内で人の顔が検出されると、自動的に測定画面に切り替わる。



### 5.5. 検温番号(カウンター)表示機能

① 検知画面の右下にあるカウンター表示を以下の通りに変更

- ◆ 内容: 1日単位の顔認証／体表温度検知回数
- ◆ フォーマット: 10 | 8
- ◆ 毎日の零時にゼロにリセット

② 検温番号(カウンター)の説明

動作モード／意味	左側数字	右側数字
顔認証モード	顔認証累計回数	顔認証成功累計回数
未登録者温度測定モード	体表温度検知累計回数	0
顔認証＋温度測定モード	体表温度検知累計回数	顔認証成功累計回数

③ トレーサビリティ

システム全体として、以下の4か所に同じ検温番号を表示することにより、トレーサビリティを提供します。

- ◆ AI サーマル検知端末本体: 液晶画面の右下カウンター
- ◆ Web 管理画面: 「履歴」メニュー
- ◆ Face Plus コンシェルジェ管理システム: 「検知履歴」メニュー。オプションの管理プラットフォームを購入する必要があります。
- ◆ TEMPOK ラベルプリンター出力: 別途ラベルプリンターを購入する必要があります。TEMPOK (<https://www.i-guazu.co.jp/lp/tempok/>)は株式会社イグアズ発売のセルフ検温&ラベル発行システムです。

## 6. 本機単体での設定管理機能

### 6.1. 本機単体でできること

以下のよく使う設定管理機能は、マウスを本機につなぐことにより、ネットワーク接続や PC 操作をせず、本機単体で設定でき、日常の運用管理を行うことができます。

- ① シャットダウン:本機能を電源オフの時に使用する。詳細は 7.3 を参照して下さい。
- ② パスワード設定(デフォルト:123456)
- ③ アラームしきい値(デフォルト:37.5°C、0.1°C単位で変更可能)
- ④ 履歴のエクスポート(デフォルト:オフ)
- ⑤ スナップ写真保存(デフォルト:オフ)

### 6.2. マウス操作

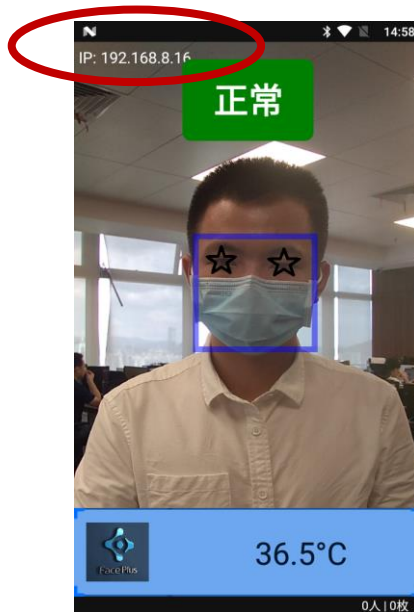
本機の USB ポートにマウスを接続することにより、設定管理機能を利用することが可能になります。

また、ネットワーク設定もできます(付録の2章参照)。

- メニュー選択:左クリック
- 前画面にもどる:右クリック

### 6.3. 設定管理機能の使い方

- ① 本機の USB ポートにマウスを接続
- ② 本機左上に表示されている IP アドレスまたは IP null を左クリック



- ③ まずはパスワード入力画面が表示される
- ④ パスワード入力してログインすれば、右側の設定メニュー画面が表示される
- ⑤ 設定変更単位は遠隔 PC (WEB) 側での設定変更単位と同じ



ログイン画面



各種設定変更メニュー画面

## 7. 運用

以下の方法に沿って、日常の運用を行ってください。

### 7.1. 推奨方法

本機は年中通電したままの運用を推奨します。

### 7.2. 起動手順

本機には電源スイッチがないため、通電した後にシステムが自動的に立ち上がり、測定モードに入ります。

### 7.3. 停止手順

① 以下の手順に従って、電源オフを行ってください。

◆マウス操作または PC(Web)操作を事前準備して下さい

◆「シャットダウン」メニューをクリックすると、「電源を切る」のメッセージが表示され、その後メッセージが消えたら(ブラックアウト状態)、3秒以内に電源を抜く。タイミングを逃したら、もう一度シャットダウンして下さい。



電源を切る画面

② やむを得ず、電源を抜く場合は以下の待ち受け画面で電源ケーブルもしくは AC 電源アダプターを抜いてくだ



さい。



#### 7.4. 注意事項

- ① 上記 7.3 の手順を踏まないで電源ダウンをする動作は、異常手段で故障の原因になります。
- ② 異常手段では故障の原因になり、保証外になるので、ご注意下さい。

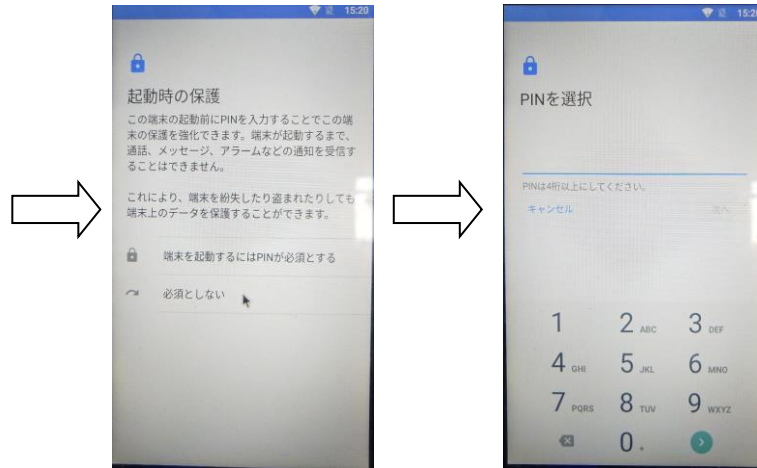
#### 7.5. セキュリティ

- ① 本機はデータのセキュリティ対策として、起動時の PIN コード及び本体保存データの暗号化に対応しています。

- ② 起動時の PIN コード設定方法

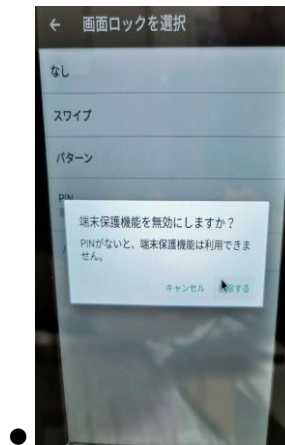
- マウスで本機の USB ポートに接続し、Android OS の「設定」より、「セキュリティ」メニューを選択し、以下の順番で設定可能
- 「必須としない」を選択し PIN コードを設定すれば、解除可能となる





### ③ PINコード解除方法

- 「画面ロック」メニューで「なし」を選択すれば、PINコードを解除できる



## 8. 基本仕様

分類	項目	仕様
基本スペック	OS	Android 7.1
	メインチップ	Qualcomm MSM8937
	ハードディスク	16GB
	ディスプレイ	サイズ:7インチ 解像度:1024 × 600
	外部電源	DC 12V/2A、外部 AC 電源アダプターより給電
	消費電力	12W
	防水	IP55
	動作環境	室内、環境温度10℃～35℃、湿度0～90%
	寸法	121mm(横)*225mm(高さ)*25mm(厚み)
	重量	1,300g
ハードウェア	赤外線センサー	32(H) × 32(V)ピクセル IR アレイ
	CMOS カメラ	200 万画素 1080P
	赤外線発光	近赤外線
	外部インターフェース	DC 電源ポート x 1
		USB2.0 ポート x 1
		RJ45 Ethernet ポート x 1
		リレー信号出力(オプション、入退場ゲートと連携可能) Weigand ID カードリーダーインターフェース(オプション、カードリーダーと連携可能) RSR232(オプション、3 <sup>rd</sup> パーティーアクセスコントローラーと連携可能)

	スピーカー	1.5 W
ネットワーク	Ethernet	RJ45
	無線 LAN	802.11b/g/n、技術基準適合証明取得済み  R211-200402
	Bluetooth	BT4.0、技術基準適合証明取得済み
体表温度検知	測定結果表示範囲	35°C~42°C(範囲外の場合は再測定を行う)
	温度精度	±0.3°C(=0.5m、室内環境温度16°C~30°C) ±0.5°C(0.5m~1m、室内環境温度10°C~15°C、31°C~35°C)
	測定距離範囲	0.5m~1m
	測定時間	約1秒(顔検出時間を含む)

## 9. 提供機能

### 9.1. 体表温度検知機能

#### 1) 機能一覧

番号	機能	内容
1	AI サーマル検知	<ul style="list-style-type: none"><li>◆ 体表温度検知モード<ul style="list-style-type: none"><li>➢ 高速モード(デフォルト)</li><li>➢ 標準モード</li><li>➢ 屋外モード</li></ul></li></ul>
2	測定結果画面表示	<ul style="list-style-type: none"><li>◆ AI による算出された体表温度参考値</li><li>◆ 正常/注意</li></ul>
	それ以外の画面表示	<ul style="list-style-type: none"><li>◆ 測定中</li><li>◆ 再測定</li><li>◆ 画面に近づいてください</li></ul>
3	通知音種類(2種類)	<ul style="list-style-type: none"><li>◆ 正常</li><li>◆ 注意</li></ul>
4	記録保存&エクスポート	<ul style="list-style-type: none"><li>◆ 保存数:10万件</li><li>◆ USBポートからでUSBメモリへエクスポート可能</li></ul>
5	アラームしきい値調整	<ul style="list-style-type: none"><li>◆ デフォルト:37.5℃</li><li>◆ 0.1℃単位で変更可能</li></ul>
6	マスク着用チェック	<ul style="list-style-type: none"><li>◆ 3つの動作モードに適用可能</li></ul>

## 9.2. 顔認証機能

### ① 概要

本機には顔認証エンジンが実装されています。本機単体でオフライン顔認証を行い、入退場ゲートと連携することにより、事前登録された人間だけの入退場をコントロールすることができます。また、勤怠管理システムとの連携も可能になります。

### ② 動作モード:「顔認証モード」もしくは「顔認証+温度測定モード」

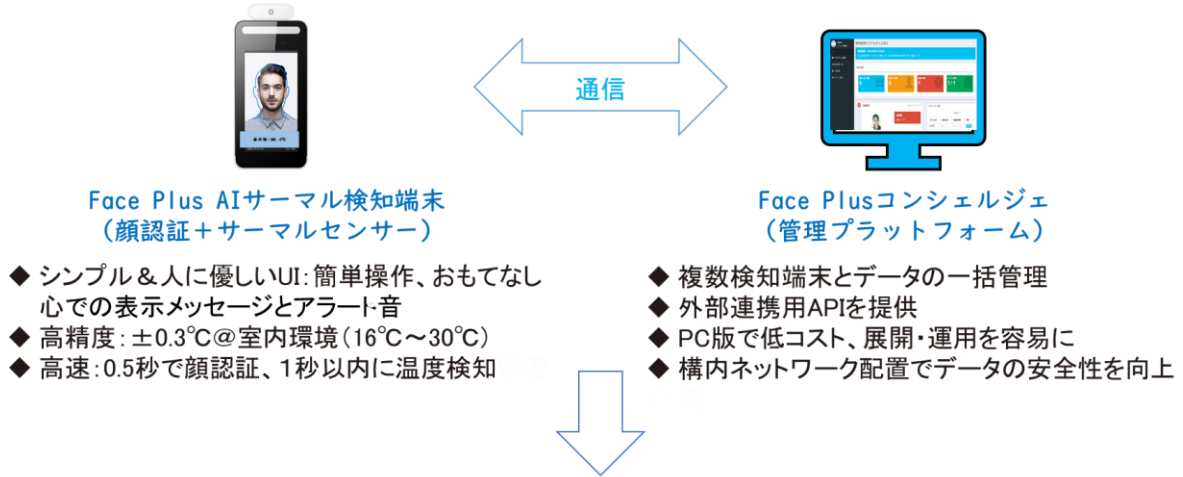
### ③ 操作方法:顔写真登録は Web 管理画面より行います。

項目	項目	仕様
1	顔認証時間	$\leq 1s$
2	マスク着用なしの本人認識率	99%
3	認識速度	0.3 秒以下
4	顔検出距離	0.3 m ~ 1.2 m
5	ローカル保存顔写真数	30,000 枚、1万人分

## 9.3. 集中管理及び外部システム連携

- ① 端末の集中管理プラットフォーム (Face Plus コンシェルジェ) をオプションで提供することにより、端末とデータの集中管理及び外部連携は実現可能となります。Face Plus コンシェルジェの機能詳細については別途販売店にお問い合わせ下さい。
- ② HTTP ベース通信インターフェースを提供し、外部システムとの連携を行います。顔認証機能付きな為、本機で収集した体表温度参考値と写真データを APP サーバ側に送ることにより、多様な拡張性が期待できます。
- ③ HTTP ベース通信インターフェース仕様書:別途 NDA または MoU 締結後に提供させていただきます。

## AIサーマル検知端末+管理プラットフォームの構成により、体表温度検知結果と顔認証情報を紐づけ、アフターコロナに向けての多彩な応用を可能に

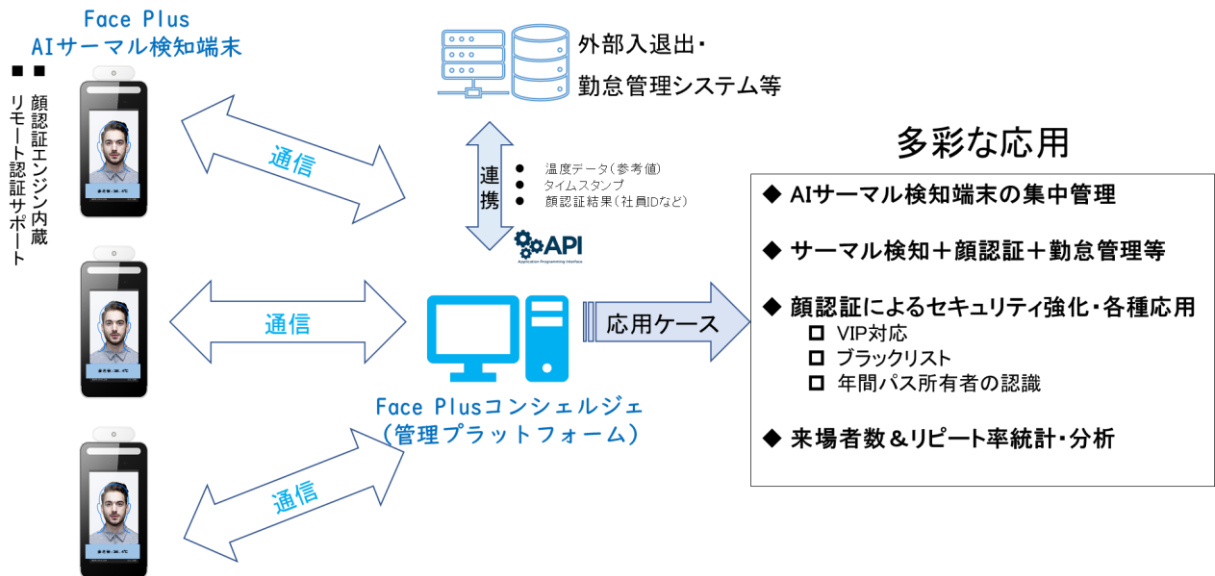


セルフ化、アラート通知とリモート化で省人化と現場スタッフの感染防止に貢献

備考: 本製品は医療機器ではありません。検知温度は体表温度からAIにより推測した値です。参考値として表示します。

### Face Plus AI サーマル検知システム概要

顔認証機能と端末側で収集した温度と写真データを管理プラットフォーム側に送ることにより、多様な拡張性を有します。



外部システム連携イメージ図

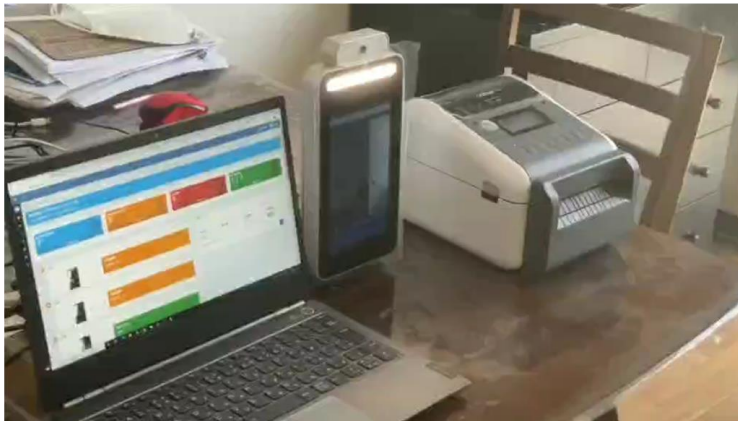
## 9.4. ラベルプリンター連携

本機はラベルプリンターと連携して、顔認証や体表温度検知結果をラベルに印刷することができます。エビデンスとなるラベルを用いて、入場管理や受付への応用が期待できます。

詳細については、当社または販売店へお問い合わせください。

### 1、構成

- ◆ Face Plus AIサーマル検知端末
- ◆ 高速ラベルプリンター
- ◆ USB接続、電源ONだけで使える



動画URL: <https://youtu.be/hjE3WeI0n6k>

### 2、プリントアウト可能内容

- ◆ 名前(事前顔写真登録が必要)
- ◆ 温度
- ◆ タイムスタンプ



ラベルサンプル

ラベルプリンター連携イメージ図



## 10. 保証範囲

### 10.1. 製品保証期間

- 製品出荷後1年

### 10.2. 保証規定

- ① 保証期間内に正常な使用状態で故障した場合、修理もしくは交換いたします。
- ② 次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
  - ◆ 故障の原因が取扱い上の不注意による場合
  - ◆ 故障の原因がお客様による輸送、移動中の衝撃による場合
  - ◆ 地震、火災他大規模災害、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷
- ③ 改造またはメーカーの指示にない修理があったと判断された場合の修理はお受けいたしかねます。
- ④ 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害について、弊社はその責を負わないものとします。
- ⑤ 本製品は医療機器、原子力設備や機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込み、および使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じたとしても弊社はいかなる責任も負いかねます。
- ⑥ 保証期限以内に報告しないと、保証サービスが受けられません。

## 11. 免責約款

上記保証サービスは日本に販売された商品のみ対象とします。

対象外の製品については、保証サービスは適用されません。

弊社商品以外の機器に起因する原因により、保証期間内に保証サービスが履行できない場合、弊社は賠償責任を負わないものとします。

商品の損傷または故障の原因が、下記に該当する場合は、品質保証サービスの対象外となります。

- 不可抗力(自然災害、火災や戦争など)
- 自然磨耗
- 使用環境条件に準拠しない使用
- 使用環境条件で定められていない環境について、劣悪な環境下における使用
- お客様または第三者の不注意、誤操作等(弊社が定める設置要件を満たせない商品の移転、設置、調整、変更)
- 取扱説明書に準拠しない使用
- 日本国外での使用

## 12. お問い合わせ

お買い求めになった販売店へご連絡下さい。

## 付録1 遠隔 PC (WEB) での設定管理機能

### 1、WEB 管理画面のできること

#### ① 概要:

本機は Web サーバ機能を内蔵しているため、管理用 PC やスマホから HTTP ベースのアクセスが可能です。各種設定の変更以外に、AI サーマル検知+顔認証の連携を可能にしています。

#### ② 使い方

- ◆ 利用条件: LAN 接続または WiFi 接続を利用し、本機をネットワークに接続することが前提条件となる
- ◆ 推奨ブラウザ: Google Chrome、Internet Explorer、Microsoft Edge
- ◆ アクセス方法: URL 欄に <http://本機 IP Address:8090>
- ◆ デフォルトパスワード: 123456
- ◆ Ethernet ポートデフォルト IP アドレス: 192.168.1.29

#### ③ マウス操作

- ◆ メニュー選択: 左クリック
- ◆ 前画面にもどる: 右クリック

#### ④ メニューリスト

番号	分類	機能
1	基本設定	パスワード変更
2		時刻設定
3		シャットダウン
4		APP ソフトウェア再起動

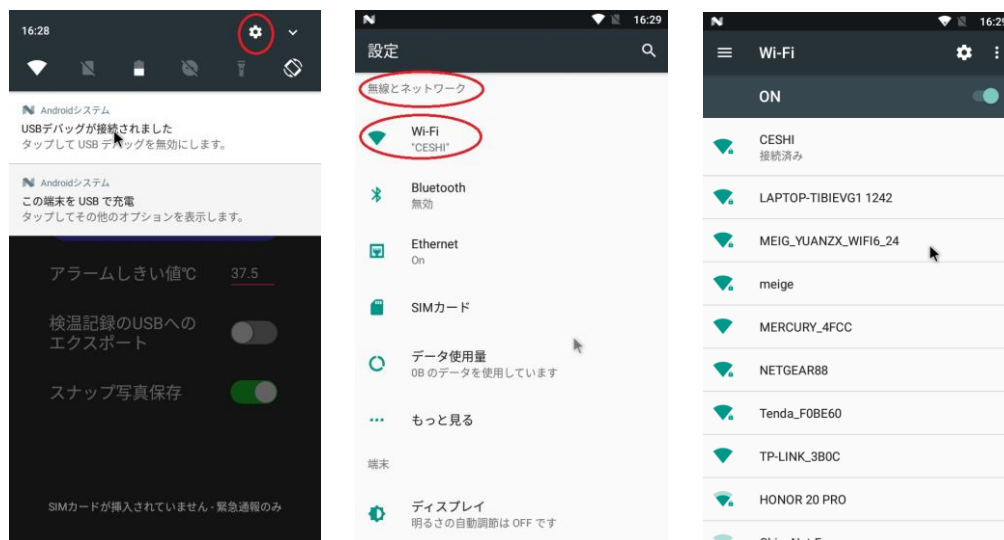
		WiFi 設定
5		出荷時設定に戻す  (設定リセット)
6		本機の識別 ID(端末 ID)確認
7	履歴	閲覧(日時指定可能)
8		記録削除(日時指定可能)
9	モード切替  パラメータ設定	モード切替  ① 未登録者温度検知モード: デフォルト  ② 顔認証+温度検知モード  ③ 顔認証モード
10		顔認証しきい値変更
11		アラームしきい値変更(0,1℃単位で変更可能)
12		履歴の USB へのエクスポート On/オフ
13		リレー信号出力設定
14		環境温度補償
15		測定モード
16		スナップ写真付き保存 On/オフ
17		マスク着用チェック機能 On/オフ
18	登録管理	新規登録
19	(顔写真登録)	削除
20		検索

## 2、ネットワーク接続

Web 管理画面を利用したい場合は WiFi または Ethernet 接続を行う必要があります。Android OS ですので、操作方法は Android タブレットと同じです。

### ① WiFi 接続手順

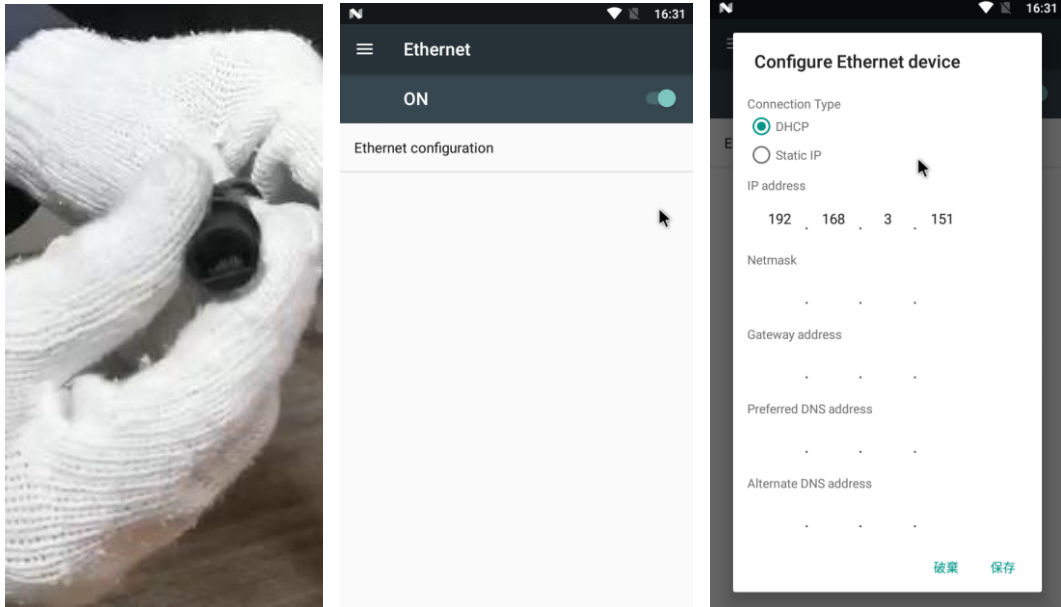
- USB ポートにマウスを接続する
- 本機の一番上のタスク欄を選択(左クリック)すると、右上に設定アイコンが出てくる
- 設定をクリックすると、一番上に出てくる無線とネットワークメニューに Wi-Fi 設定メニューがある
- さらに Wi-Fi メニューを選択すると、接続できる Wi-Fi ネットワーク一覧が表示される
- 接続可能なネットワークを選択し、接続を行う



WiFi 接続手順

### ② Ethernet 接続手順

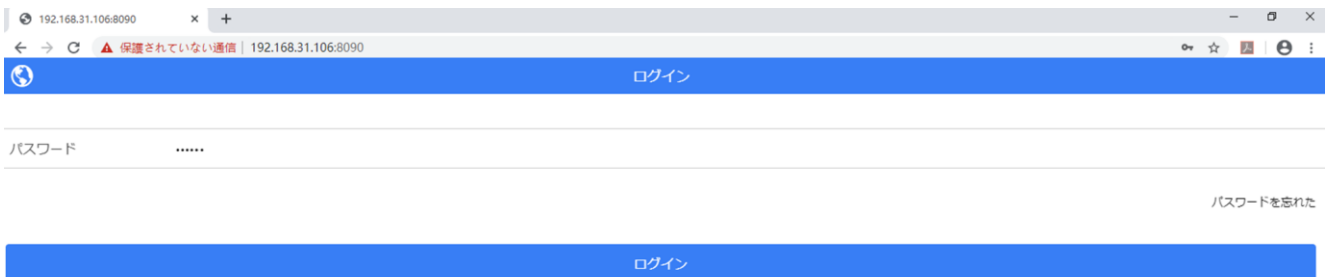
- LAN ポートに RJ45 LAN ケーブルを接続して、Ethernet 接続を行う
- マウスで設定アイコンをクリックし、Ethernet を選択すれば、IP アドレス設定が可能
- 以下のデフォルト固定 IP アドレスを割り当てて出荷: **192.168.1.29**



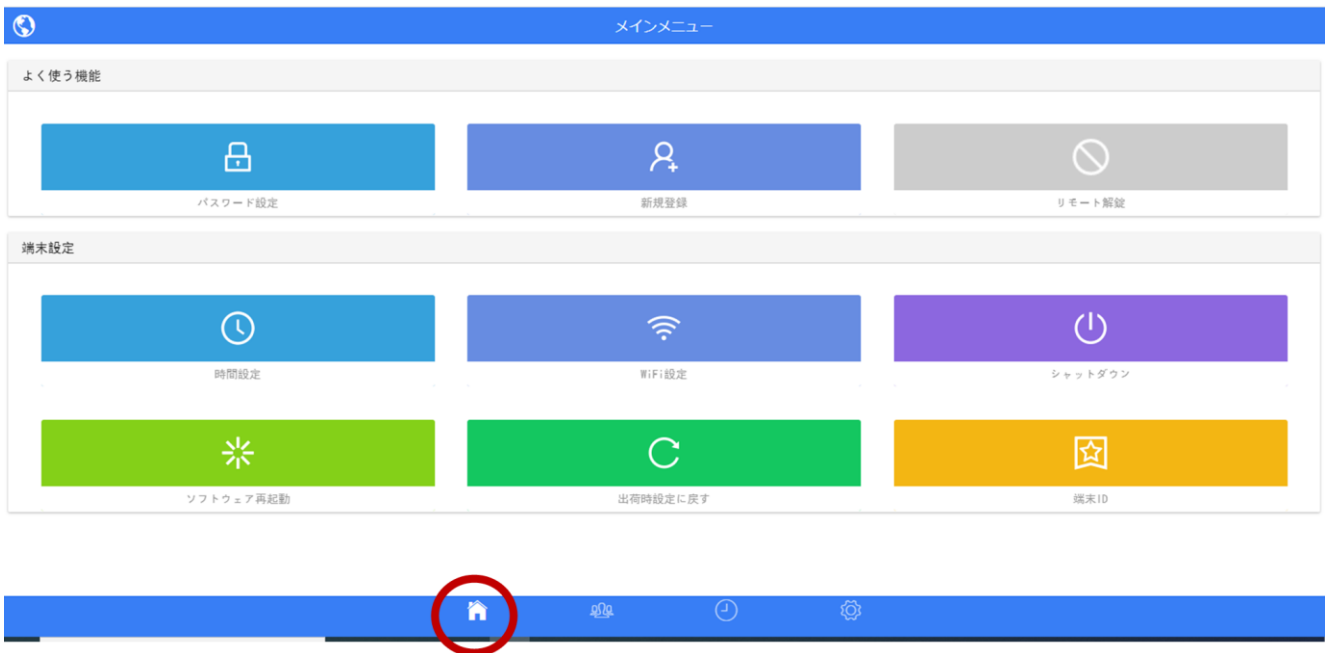
Ethernet 接続手順

### 3、メニュー画面

#### ◇ ログイン



## ◇ メインメニュー画面



## ◇ 登録管理(顔写真登録)





◇履歴

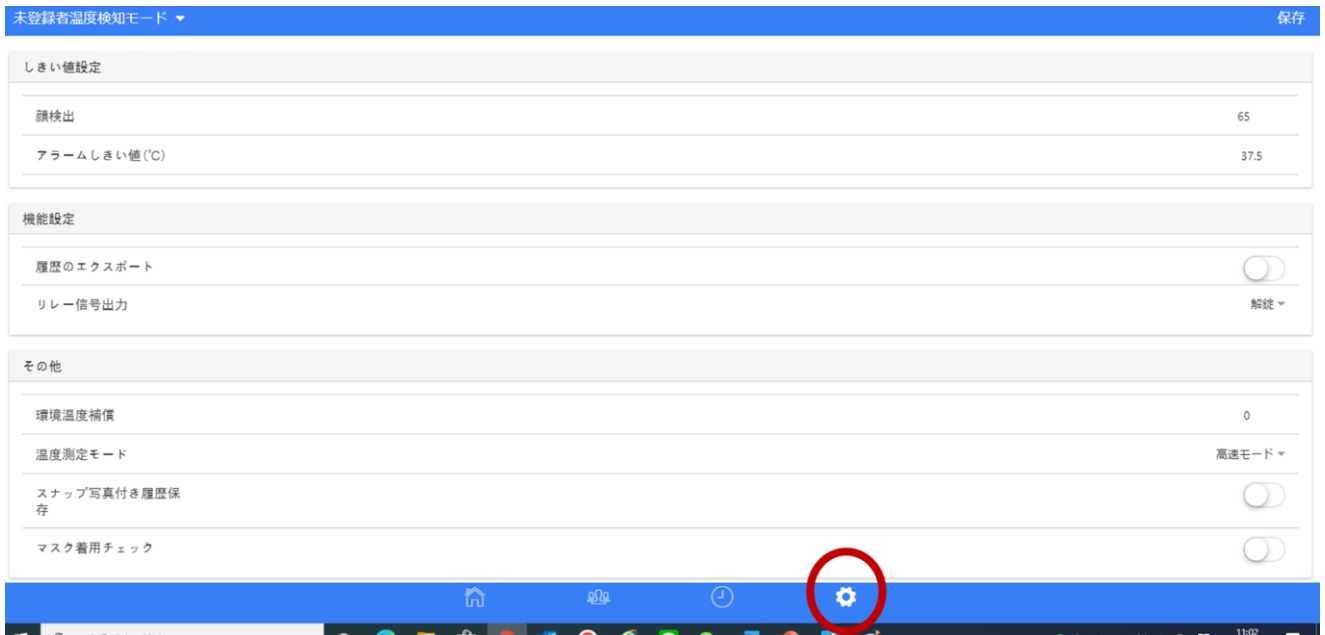
The screenshot shows the '履歴' (History) screen. At the top, there is a header with '履歴' and a search icon. Below the header, there is a date filter '2021-01-22' and a time filter '00:00 - 23:41'. The main content is a table with the following data:

検温番号	検温者 / 時刻	検温結果
22	索東輝: 2021-01-22 12:34:20	37.4 °C
21	索東輝: 2021-01-22 12:34:17	37.3 °C
20	索東輝: 2021-01-22 12:34:13	37.1 °C
19	索東輝: 2021-01-22 12:34:10	37.1 °C

The bottom navigation bar has a red circle around the '履歴' (History) icon.



## ◇ モード切替・パラメータ設定



### 付録2 Web 管理画面ユーザーマニュアル

添付資料をご参照ください。

### 付録3 自立スタンド据付け手順書

添付資料をご参照ください。